

とびです、このとき
わいこの威勢のよさ。
新発田中心部の魚屋さ
んの二コマです。

スカーフをかぶった
お母さんに、マントで
丸まった背中が懸命に
魚を選んでいるのでしょ
う。はちまきをきりり
と締めたとお兄さんの後
ろ姿はやけにけりしい
し、ひもでぶつ下がっ
たかこは、昔の。レ
ジです。ここに小銭
やら札が入ってたもん
です。
電話番局はまだ局番
がないころなんです
ね。その下のポスター
が、なんとリアルに時
代を伝えていること
か。

大竹静市郎

想い出写真帳

昭和30年代

私はすっかり東京暮らしが長くなりましたが、サカナはやっぱり新発田がうまいっ、と今でも思っています。

もうひとつ。漁業新聞の仕事で若いころに、冬の岩手は大船度のイカ釣り船に同乗取材したことがあります。マイナスイ六度。

一晩中凍えた後でのイカの刺身のうまいのな

鮮魚求めにぎわう

ケにたまにはおちそう
の肉を買い物してまし
と、そんなことまで思
い出されます。

買い物

年の瀬、鮭が何本もぶら下がっている。

夕方ともなると買い物のお母さんたち
で商店街は何ともいえないにぎわいに
包まれた

